

広報誌



かけはし

2022年
夏号
No.63

TAKE FREE

「つながる」ことの大切さ

医療法人優なぎ会 雁の巣病院

院長 熊谷 雅之

JOZNOM

ジョズノム - 上手なお酒の飲み方 外来 -

連携医療機関の紹介 Vol.22

永年勤続表彰

ラブアース・クリーンアップに参加しました

日記な後記

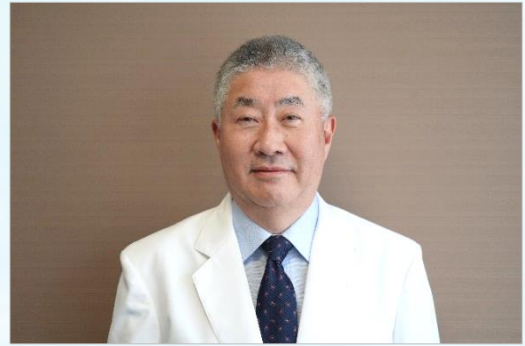


かけはしマップ



「つながる」ことの大切さ

医療法人優なぎ会 雁の巣病院
院長 熊谷 雅之



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応が、2年以上も続いています。毎日発表される感染者数の増減や、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの制限により、多くの方々の生活に影響を及ぼしています。特に飲食店は、事あるごとに対応を余儀なくされ、苦しい時期がずっと続いているという話を聞いています。これまで通りとはいかなくとも、誰もが過ごしやすい日常生活が送れるようになることを願うばかりです。

新型コロナによる影響は精神疾患にも波及し、私が関わっているアルコール依存症にも及んでいます。コロナ禍により、全国でのアルコール消費量は減少していますが、医療機関へのアルコール依存症やお酒の飲み方についての相談件数は全国的に増加傾向にあるようです。当院にも「コロナ禍になって飲酒量が増えている」といった相談が入っています。

その影響もあってか、福岡県内における飲酒運転事故の件数は減少傾向ですが、飲酒運転事故発生率が昼間帯と夜間帯でほぼ同じであったり、飲酒運転事故を起こした運転者の80%超が「酒酔い運転」または「高濃度(呼気0.25mg/l以上)の酒気帯び運転」であったりと、違反者の悪質化が顕著になっています。

福岡県では、平成18年の海の中道大橋での飲酒運転死亡事故、平成23年の粕屋町での飲酒運転死亡事故と、2度の痛ましい事故を経験し、平成24年に施行された「福岡県飲酒運転撲滅運動の推進に関する条例」があるにもかかわらずこのような現状では、福岡県全体で目指している「飲酒運転ゼロ」への道のりが遠く感じてしまいます。

当院は2020年より「福岡県依存症治療拠点機関(アルコール健康障害)」として、お酒の問題を抱えている方が適切な治療を受けられる体制を整えています。また、県から委託を受けた飲酒運転撲滅活動アドバイザーが在籍し、地域の方々への啓蒙活動と共に、職員に対する情報発信にも努めています。

さらには、今年の6月から「アルコール依存症ではないけれど、お酒の飲み方に不安がある」といった方に向けた「上手なお酒の飲み方外来『JOZNOM』(ジョズノム)」という飲酒量低減プログラムを開始しました。

コミュニケーションが難しい今だからこそ、人とのつながりが重要であると考えています。飲酒運転やお酒の飲み方について周囲に声をかけてくれる人がいれば、その結果は違ったものになっていたかもしれません。本人を理解している人の言動は、何よりも大きな助けになるはずです。お酒の飲み方に悩んでいるご本人や周囲の方々に対しての「つながり」を大切に、少しでもサポートすることができるよう、雁の巣病院はこれからも尽力していく所存です。

かしい心療クリニック

田中 耕司 院長



<診療科>

心療内科・精神科・神経内科



<診療時間>

月・火・木・金曜

10:00～13:00 14:00～18:00

水・土曜

10:00～13:00

日・祝日

休診

<アクセス・リンク>

福岡市東区香椎駅前1-11-1

JR香椎駅内 駅ビル3F

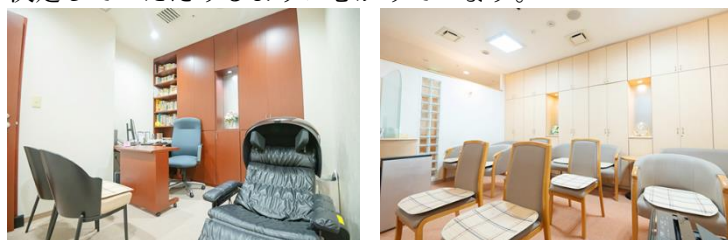
TEL 092-673-9620

URL <https://kashii-shinryo.server-shared.com>



当院は「気軽に受診できるクリニック」を目標にして、JR香椎駅の駅ビル3階に、2001年に開院しました。開院当初は、心の症状で悩んでいる広い範囲の患者さんの診療を目指しておりました。しかし、近隣に大学・高校が多数あることから、比較的若い人が多く受診されるようになり、それに合わせて思春期・青年期の患者さんや、それらの年代に多い悩み、臨床の軸足を移してきました。加えて、香椎・千早地区に精神科クリニックの開業が続き（現在は当院を含めて7軒!!!）、それぞれに特徴ある診療をされているため、幾分特化した診療を目指すことになりました。その結果、現在は軽症のうつ病・不安障害・適応障害を主として、公認心理士の力を借りて、発達障害や不幸な家庭に育った人、夫婦問題や親子問題、学校や職場での悩み、犯罪被害や虐待体験のある人の手助けなどをしております。

当院は、症状があるからといって必ずしも薬物療法を行うわけではありません。必要であれば薬物療法を勧めますが、効果の無い薬剤は減量中止を目指し、少ない種類・少ない量の薬剤での治療を目指しています。また、カウンセリングを主として薬剤を投与しないことや、体調を整える目的で漢方薬を処方することもあります。いずれの治療においても、患者さんに理解していただき、治療方針を納得し、自身の意思で決定していただけるように心がけています。



駅の中というアクセスの良いことが当院の利点ではありますが、広いスペースが取れないため幾分混み合うことが多く、対人緊張の強い患者さんや強迫症の患者さんなどには、大変申し訳ない状況となっています。また、デイケアや集団療法などを行うスペースが無く、質の高い臨床サービスが提供できておりません。予約診療を行うことにより、混雑を軽減し待ち時間を短縮することに努めておりますが、そのため、希望する日時に受診できないことも多いようです。加えて、医療の特性上、症状の悪化した方の診療に時間をかけるため、他の患者様を長時間お待たせすることになり、お叱りをうけることもしばしばあります。

今、このことを思うにあたり、雁の巣病院のゆったりとしたスペース、質の高い精神科サービスと比して、当院の実に狭い対象、サービスの質の低さに改めて気づきました。今後は、サービスの質を高めるように努力していきます。

雁の巣病院、特に熊谷院長には、当院の開院にあたっていくつものご助言をいただきました。開院後も頻繁に入院を引き受けていただいたり、休日・時間外の緊急対応などをしていただいたりと、大変感謝をしております。この紙面を借りて、お礼を申し上げます。



永年勤続者表彰

永年勤続した職員に対して、表彰式を6/7に行いました。今年は勤続30年の職員が1人、勤続20年の職員が2人、勤続10年の職員が10人の計13人が表彰されました。

院長の熊谷より「職員の皆さんには大変感謝しています。これからもよろしくお願いいたします。」と挨拶し、一人ひとりに言葉をかけながら表彰状を授与しました。



ラブアース・クリーンアップに参加しました

ラブアース・クリーンアップは福岡市内の約200ヶ所で行われている活動で、当院近隣の奈多海岸も清掃場所になっています。

コロナ禍の影響で3年ぶりに開催され、当院からは職員やその家族の30名ほどが参加しました。

海岸のゴミを集めながら、久しぶりに地域の方々と交流することもでき、気持ちのいい汗をかくことができました。



日記な 後記



放射線課
古谷 陸



最近家のベランダで、ちょっとした家庭菜園を始めってみました。ナス・パセリ・大葉・ミニトマトを育てています。

ナス・パセリ・大葉は順調に育っているのですが、ミニトマトが「斑点細菌病」という、葉に淡褐色の斑点ができる病気にかかってしまいました。

インターネットで対策を調べて対処すると、症状も落ち着いてきて、今は元気にすくすく育っています。ミニトマトにも色々な病気や症状があり、対処の仕方それぞれ違うのだなと勉強になりました。

日々の検査業務でもやはり、患者さん一人ひとりに合わせた検査を行うことが大切なので、初心を忘れず最適な撮影を心掛けていきたいと思います。

「かけはし」に関するご意見や感想などございましたら、メール・Facebook・職員・右記QRにお願いいたします。



ジョズノム – 上手なお酒の飲み方 外来 –



上手なお酒の飲み方を学んでほしい

当院では平成2年より、アルコール依存症を主とした依存症治療を展開し、時代の流れと共に飲酒量低減治療も行ってきました。

30年以上アルコール依存症治療を行ってきた当院が、「上手に飲む」ことを体系化した飲酒量低減治療プログラム「JOZNOM(ジョズノム) 上手なお酒の飲み方 外来」を新設しました。

こんな方が対象です

- 依存症ではないがお酒の飲み方に不安があり、飲酒量を低減した方が良い方
- 軽度の依存症と診断されたが断酒までの必要性はなく、主治医に飲酒量低減治療を勧められた方
- 血液検査のデータ(γ-GTPなど)が基準値内か、若干の基準値範囲外程度
- 家族や周囲が、断酒までの必要性は感じていないが、本人の飲酒を心配して「お酒を控えて欲しい」と望んでいる
- 飲酒による社会的な問題があまり無い

主な内容

- ブリーフインターベンション(HAPPYプログラム)
- 医師や外部講師等の講義
- アルコールダイエット日記
- 飲酒運転
- その他プログラム各種



今までのお酒の飲み方とこれからのお酒の飲み方を、当院の専任スタッフが一緒に考えていきます。「お酒の心配がある」「お酒のせいで身体の不調や仕事のパフォーマンス低下を感じている」「対象になるか迷う」という方は、まずはご相談ください。

表紙の場所を訪ねて ～西戸崎渡船場～

福岡市営の定期旅客船が寄港する渡船場。西戸崎を経由して博多ふ頭と志賀島を結ぶ航路。1日15往復の運航で、全行程の所要時間は約30分。

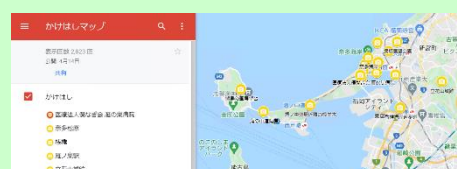
発祥は明治末期で、複数の業者が博多～志賀島間の航路を運営していたが、1933(昭和8)年に志賀村(現在の福岡市東区志賀島)が渡船事業を公営化した。

福岡市中心部から西戸崎や志賀島へは陸路でも移動できるが、地形の関係上、この航路の方が移動距離・所要時間が短い。そのため、通勤や通学、海の中道海浜公園や休暇村志賀島などの観光地へのアクセスにも利用されている。

波止場は左右どちらにも着岸できるが、どちらに着岸するかは、風や波の状況から船長が判断している。



「かけはしマップ」で場所をチェック！



かけはしマップ がんのす



医療法人優なぎ会

GANNOSU HOSPITAL

雁の巣病院



納得のいく医療

患者・家族の皆様、そして私たちが納得のいく医療の実践に努めます

精神科・心療内科・内科・リハビリテーション科・歯科
293床（精神病床264床、一般病床29床）

〒811-0206 福岡県福岡市東区雁の巣1-26-1

TEL 092-606-2861 FAX 092-607-2211

<http://www.gannosu.org>



HP



Facebook

診療時間

平日	9:00～17:00
土曜日	9:00～12:00
日・祝日	休診

外来受診は予約制となっております。(急患の際はこの限りではございません)
24時間365日、ソーシャルワーカーが対応いたします。
まずはお電話にてご相談ください。

アクセス

【車でお見えになる方】

- ・高速道路利用
九州自動車道 古賀ICから約25分
- ・福岡都市高速道路利用
アイランドシティICから約7分

【JR九州をご利用の方】

香椎線 西戸崎方面(鹿児島本線 香椎駅で乗換)
雁ノ巣駅下車 徒歩 約5分

【西鉄バスをご利用の方】

行先番号：21A番,21番,210番,220番,直行
バス停「雁の巣」下車 徒歩 約2分

